

暴力や貧困、障害など、複数の困難が重なり合うことで、生きづらさが深刻化する女性たちがいます。

こうした状況は、個人の努力や性格の問題ではなく、社会の構造的な格差や価値観と密接にかかわっています。本講座では、女性の居場所づくりと包括的支援に取り組んできた講師を迎え、支援の現場から見てきた女性たちの姿を通して、困難の背景にある社会的課題を考えます。

暴力や依存、孤立などの問題を社会的構造が生み出す人権課題として捉え直し、回復に向けた「他者からの応答」や「つながり」の大切さを取り上げます。個人の痛みを社会の課題として共有し、誰もが安心して「生き延びる」ことのできる社会のあり方を共に考えます。



講師

おおしま えいこ
大嶋 栄子

NPO法人リカバリー代表、
国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所客員研究員

精神科ソーシャルワーカーを経て、2002年にさまざまな被害体験を背景に持つ女性の支援を行う団体「それいゆ」を立ち上げる。2004年、NPO法人リカバリーとして認証され、3つの事業を実施。フェミニスト・ソーシャルワークについて実践と研究を行い、著書には『その後の不自由』（共著/医学書院）、『生き延びるためのアディクション』（金剛出版）、『傷はそこにある』（日本評論社）など。最新刊『傷はそこにある』は、2025年日本ソーシャルワーク学会・学術賞を受賞。

参加方法

お申込みはこちら



[https://form.run/
@lecture-2025-03](https://form.run/@lecture-2025-03)

以下のWebフォーム(QRコード)、電話のどちらかでお申込みください。

電話

03-6722-0123

電話でお申込みの場合は、以下の内容をお知らせください。

- ①代表者名②参加人数③参加形式(会場・オンライン)④受講案内送付先(住所・メールアドレス)
⑤電話番号⑥障害等による必要な配慮の有無(有の場合は内容)

申込締切

会場 2025年12月4日(木)正午
オンライン 2025年12月12日(金)正午

※ご提供いただいた個人情報は、申込手続き以外には使用いたしません。

情報保障・託児を希望される方は、講座申込時に併せて11月28日(金)までにお申込みください。

その他

- お申込みを頂いた方には受講案内をお送りいたしますので、当日までに受講案内が届かない場合は、お手数ですがお問合せください。
- 手話通訳や点字通訳などの情報保障についてはお問合せください。

フォローアップ企画

フォローアップ・テキスト(事後学習資料)の提供

参加者が講座内容に関して事後学習を行い、より理解を深められるよう学習資料を参加者に提供します。

お問合せ

東京都人権プラザ

〒105-0014 東京都港区芝2-5-6 芝256スクエアビル1・2F
TEL 03-6722-0123 E-MAIL fukyu3103@tokyo-jinken.or.jp
URL <https://www.tokyo-hrp.jp/>

東京都 **人権プラザ**
TOKYO METROPOLITAN HUMAN RIGHTS PLAZA
LINE 公式アカウント

